

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

288

小学校交流事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	1	豊かな心を育む教育の推進
取組方針	2	郷土を愛するふるさと教育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		小学校費	
	目		学校管理費	
	大事業		小学校管理事業	
	中事業		小学校交流事業	

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市教育振興基本計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	学校支援課	古田 清和	435-1139
事業実施の根拠法令		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	加太小学校5年生を対象に、川上小学校4～6年生と交流し、様々な体験を通じて人間形成に役立てる。		加太小学校と奈良県川上小学校との交流を通じて、水資源の保全と水源及び森林保護への相互理解を深め、人間形成に役立てる。		
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	加太小学校5年生の児童が、7月下旬に1泊2日で川上村を訪問し、森と水の源流館や大滝ダムを見学するとともに、川遊び、アマゴ取り等を体験した。その数日後、逆に川上小学校の4～6年生が加太を1泊2日で訪問し、海水浴、海釣り等を体験した。	加太小学校5年生の児童が、7月下旬に1泊2日で川上村を訪問し、森と水の源流館や大滝ダムを見学するとともに、川遊び、アマゴ取り等を体験する。その数日後、逆に川上小学校の4～6年生が加太を1泊2日で訪問し、海水浴、海釣り等を体験する。	加太小学校5年生の児童が、7月下旬に1泊2日で川上村を訪問し、森と水の源流館や大滝ダムを見学するとともに、川遊び、アマゴ取り等を体験する。その数日後、逆に川上小学校の4～6年生が加太を1泊2日で訪問し、海水浴、海釣り等を体験する。	川上小学校の4～6年生が加太を1泊2日で訪問し、加太小学校5年生、6年生児童と海水浴、海釣り等を体験する。	加太小学校5年生の児童が、7月下旬に1泊2日で川上村を訪問し、森と水の源流館や大滝ダムを見学するとともに、川遊び、アマゴ取り等を体験する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	271	239	266	91	175	0	96	0	96	0
伸び率(%)	△11.1%	△23.2%	△1.8%	△61.9%	△34.2%	△100%	△45.1%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	1,439	1,359	1,450	1,450	1,434	1,434	1,036	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,439	1,359	1,450	1,450	1,434	1,434	1,036	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	271	239	266	91	175	0	96	0	96	0
所要人数(人)	正規職員	0.18	0.17	0.18	0.18	0.18	0.18	0.13	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	傷害保険料8千円、消耗品費87千円、自動車借上料171千円ほか									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
交流回数		回	目標値	2	1	1	1	1
			実績値	2	1	0		
			達成度(%)	100%	100%	0%	%	%
川上小学校を訪問した加太小学校児童数		人	目標値	8	0	8	0	8
			実績値	8	0	0		
			達成度(%)	100%	0%	0%	%	%
加太小学校での交流会参加児童数		人	目標値	8	8	0	22	0
			実績値	8	18	0		
			達成度(%)	100%	225%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成13年度からの交流により、互いの住む地域の自然や人々と触れ合う活動を通して友情を温めるとともに郷土愛を育んでいることから、現行のまま事業を継続することが適当である。
見直し・改善内容	加太小学校の児童数が大幅に減少しているため、バス代などの一人当たりの費用が割高になってしまっている。また、川上村の川上小学校の児童数も大きく減少していることも、今後検討していく必要があると考える。